

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

修行というのは死んでからも修行だ 千 玄室 (茶道家千家前家元)

1. 千家が掲げた精神の一つに「不易流行」があります。これは一言でいえば、自然体であれということでしょう。誰かにおもねることも時代に迎合することなく、自然と歩みをとともにせよと。やはり「不易流行」とともに「温故知新」ということが大切です。時代の変化に合わせて、新しいことばかりチャレンジを重ねていると本来の姿を見失ってしまうことを危惧します。
2. 私は父が還暦を迎えた頃に結婚したのですが、その時「ええか、修行というのは死んでからも修行やぞ」と言われました。当時は「死んでからなど、修行ができるものか」と小生意気に思ったりしました。そればかり考えていますと、ある日、なるほどなという明確な答えが返ってきました。いったん何かを志したら、どんなことがあっても、いや、あの世へ行ってもお修行をせよという、一つの厳しい道の教示ではないか。そう考え始めてから気が楽になりました。
3. 修行のため僧堂に入り、ある時、庭の草抜きをしていました。すると後藤瑞巖老師が立っておられて「あんたはいま、どんな気持ちで草を抜いてるんや？」と聞かれた。そう言われても、別段何も考えていない。後で呼ばれてこう言われました。「あんたは戦争から帰ってきて、忸怩たる思いでいることはわかる。しかし、あんたが抜いてたあの草も生きているのだ、その草をなんとも思わず抜いていたらダメだ。生きてる草に“抜かせていただきます”という気持ちを持たないといけない」。この言葉を聞いて、生かされて帰ってきたからこそ仲間の分まで頑張らねばならないと思いました。(参考:「致知」2013年1月号)

経営者のための営業学

切れ目なイベント (TDL)

1. TDL (東京ディズニーランド) 入園者は年間 2500 万人超。今年度は TDL 開業 25 周年時 (2008 年) の過去最高 2722 万人に迫る勢いだ。入園者の 9 割が首都圏中心のリピーターだ。日本人は期間限定イベントが好きで、いろいろな体験を楽しみたがる。イベントのよさは「今だけ」の点。そのとき行かなければ体験できない。
2. 来年度は、1983 年の開業以来、30 周年となる節目の年。定番の季節イベントに加え、来年 4 月 15 日から再来年 3 月 30 日まで、「ザ・ハピネス・イヤー」と名付けた周年イベントで盛り上がる。リピーターだけでなく、頻繁に足を運べない地方からのゲストをいかに呼び込めるイベントを作るか、周年イベントの成功はそこにかかる。

(参考:「週刊東洋経済」:2012年11月10日号)

ワンポイント経営アドバイス

地方から東京、そして海外へ

1. 清酒純米大吟醸「獺祭」を醸造する旭酒造 (桜井博志社長・山口県岩国市) の今期の売上は前年比 150% の約 26 億円。毎年 2 ケタ成長を続けている。減少傾向が続く清酒業界の中で異彩を放つ。世界 16 カ国でも販売しており、売上の約 1 割を海外で占める。
2. 販路拡大のため、1990 年、桜井社長自ら東京に出向き、酒販店、レストランをまわって「獺祭」を置いてもらうお店を増やしていった。自ら足を運んだのも「卸問屋に扱ってもらえるほどの規模がない」ためだ。東京で成功しても安住することはなかった。次に向かったのは海外だ。旭酒造は、2000 年に台湾 (台北)、米国 (ニューヨーク) に進出。外食産業が発達していて、日本食人口が比較的多いというのが選んだ理由だ。桜井社長は、将来海外での売上を半分にしたいと考えている。

(参考:「WEDGE」2012年12月号)

古典に学ぶ

「よいことをせよ」は世界の共通言語だ

「世界の各種の宗教的観念、信仰等は、遂に一に帰する期のないものであるか。いく分かの相違はあるけれども、悪いことをするな、善いことをせよと言う」

(解説) 世界にある多くの宗教や信仰が、最期に一つになる時代は来ないのだろうか。多少の違いはあるけれど、結局すべて、「悪いことはするな、よいことをしなさい」と言っている。

(参考: 渋澤健「渋沢栄一 100 の訓言」: 日経ビジネス人文庫)